

Time Card Checker マニュアル

Time Card Checkerを起動する

起動は管理者が行う。起動を行うことで以下の機能を実行できるようになる。

- タイムカード指導対象学生の新規登録機能
- タイムカードチェック機能
- タイムカードチェック履歴確認機能

1. ターミナル等のコマンドラインツールを起動し、cdコマンドでflaskServerディレクトリに移動する。

```
cd flaskServer/
```

2. run.pyファイルにPythonコマンドを実行する。

```
python3 run.py
```

3. 終了する場合は、キーボードのCtrlキーとCキー同時押し等による、Pythonの実行終了によってTime Card Checkerの起動が終了する。

タイムカード指導対象学生の新規登録機能

新規登録はタイムカード指導対象者本人が行う。

1. Google Chromeのアドレスバーに、<http://127.0.0.1:5000/registry>を入力し、Time Card Checker登録ページにアクセスする。アクセスが成功すると以下のような画面が表示される。 ページ内のフォームに学籍番号、名前、フリガナを入力する。決定ボタンを押すとタイムカード指導対象学生が追加される。

Time Card Checker 登録

学籍番号

sXXXXXX

名前

姓

田中

名

太郎

フリガナ

セイ

タナカ

メイ

タロウ

登録

2. 登録が完了すると、学生識別用QRコード配布ページに移動する。

Time Card Checker 登録

新規登録に成功しました。QRコードを保存してください。



QRコードを保管してください。クリックで拡大
できます。

戻る

3. スマートフォンなどの撮影や、USBメモリなどでQRコードを保存する。記憶媒体に保存する場合は、**timeCardProject**フォルダ内の**student**フォルダにアクセスし、登録した学籍番号の名前のファイルを保存する。戻るボタンを押すことで登録フォームページに戻る。
4. 既に登録されている学籍番号は新規登録出来ず、以下のページに移動する。

Time Card Checker 登録

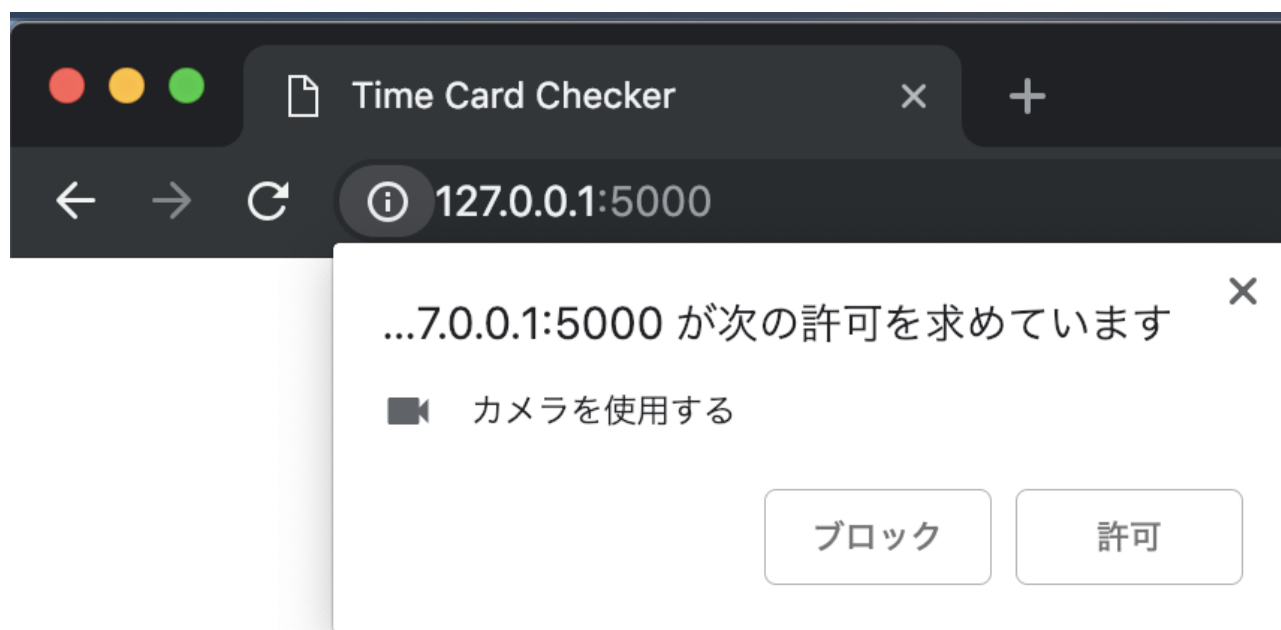
既に登録されている学籍番号です。

戻る

タイムカードチェック機能

タイムカードチェックは、Time Card Checkerに指導対象者として登録済みの学生が行う。

1. Google Chromeのアドレスバーに<http://127.0.0.1:5000/>を入力後、Time Card Checker認証ページに移動する。
2. ページ移動後、カメラ使用許可を求められた場合は許可する。



3. ページ内に以下のようなカメラ映像が表示される。

Time Card Checker

QRコード認証



4. カメラに自身の顔が映っている状態で、事前に発行されたQRコードを認証させることで、タイムカードチェックが完了する。

Time Card Checker

認証に成功しました。

戻る

5. Time Card Checker内に登録されていないQRコードを検知した場合は以下のような画面が表示される。

Time Card Checker

有効なQRコードではありません。

戻る

タイムカードチェック履歴確認機能

履歴確認は管理者が行う。

1. Google Chromeのアドレスバーに、<http://127.0.0.1:5000/login>を入力し、Time Card Checker管理者用ページにアクセスする。アクセスが成功すると以下のような画面が表示される。

Time Card Checker 管理者用

ID

パスワード

ログイン

2. 正しいIDとパスワード（初期ID：admin、パスワード：password）を入力後、ログインボタンを押し、ログインが成功すると以下のような画面が表示される。タイムカードチェック機能によって認証された日付時間、学生名、認証時に撮影された写真の一覧を確認できる。

Time Card Checker 管理者用 認証履歴

日付時間

名前

写真

3. 管理者用のIDとパスワードの変更は、コマンドラインツールを用いて行う。コマンドラインツールを起動し、cdコマンドでflaskServerディレクトリに移動する。

```
cd flaskServer/
```

4. setupAdmin.pyファイルに、変更したい新しいIDとパスワード、2つの引数付きのPythonコマンドを実行する。以下の例では、新しいIDを「newID」、パスワードを「newPassword」として登録する。

```
python3 setupAdmin.py newID newPassword
```

初期化方法

Time Card Checkerの初期化は管理者が行う。

1. Time Card Checkerを起動中の場合は終了する。
 2. Finder等のファイラーを開き、timeCardProjectフォルダに移動する。
 3. studentフォルダに移動し、フォルダ内のファイルを全て削除する。
 4. timeCardProjectフォルダに移動し、flaskServerフォルダに移動する。フォルダ内のDB.dbを削除する。
 5. staticフォルダ内のFaceフォルダ、QRcodeフォルダ内のファイルを全て削除する。
 6. Time Card Checkerを起動する。
-